

木器区(南)防災マップ

緊急連絡先

三田市災害対策本部 (市役所)
TEL 563-1111
消防署 (火災・救急)
TEL 119

【凡例】

- 避難経路
- ✕ 土砂災害の危険箇所
- ✕ 浸水害の危険箇所
- 消 消火栓
- 40 防火水槽 (数字は容量を示す)
- 緊急避難場所 (区避難所)
- 土砂災害
 - 土砂災害特別警戒区域
 - 土砂災害警戒区域 (土石流)
 - 土石流危険渓流
 - 山腹崩壊危険地区
 - 地すべり危険箇所
 - 土砂災害警戒区域 (地滑り)
 - 崩壊土砂流出危険地区
 - 崩壊土砂流出危険渓流
 - 土砂災害警戒区域 (急傾斜地)
 - 浸水実績 (平成16年台風23号)

避難情報が発令された場合の行動

| 〈行動の種類〉 | 〈行動方法〉 |
|---------------|---|
| 避難準備・高齢者等避難開始 | 情報の収集、持ち出し物の準備、避難場所の確認をするなど、避難の準備をしましょう。お年寄り、体の不自由な方など避難に時間を要する方は避難を開始してください。 |
| 避難勧告 | 人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状態です。指定された避難場所か屋内の安全な場所へ避難してください。 |
| 避難指示 (緊急) | ただちに指定された避難場所か屋内の安全な場所へ避難してください。避難する余裕がない場合は生命を守る最低限の行動をとってください。 |

避難の方法

避難所へ避難する場合

- 1 車は使わず、歩いて避難しましょう。
- 2 川に近い場所、かけ下など危険な場所を避けて、近くを避けてください。
- 3 動きやすい服装で、二人以上で避難しましょう。
- 4 列に出る前に火の始末、片付けを済ませ、荷物のプレーカーも落としましょう。

屋内で避難する場合

- 水害の場合
周りで浸水が始まった時は近くの風所や建物の2階以上に避難しましょう。
- 土砂災害の場合
家中で2階のかけ、山から離れた部屋に避難する、または壁際とする。

■非常持ち出し品 (避難する時に持ち出すもの)

- メガネ、補聴器、入れ歯、普段飲んでいる薬
- 懐中電灯、携帯ラジオ、予備の電池、携帯充電器
- 現金 (小銭が実家)、貴重品
- ヘルメット、防災頭巾、運動靴、軍手

■備蓄品 (避難生活に備えて家などに蓄えておくもの)

- 飲料水
1人1日3リットル分の水は飲料用に必要な量とされています。
- 飲料
乾パンやクラッカー、缶詰 (保存期間が長く、火を通さなくても食べられるもの)、レトルト食品、ナイフ、缶切り、粉ミルク・ほ乳びん (赤ちゃんがいる場合)

★地震が起こったら (三田市HP)

- ①まず、身の安全を!
- ②あわてず火の始末を! (揺れている途中に火を消そうとすると危険)
- ③出口の確保と落ち着いた行動を!
- ④火が出たら、すばやく消火!
- ⑤山崩れ、がけ崩れに注意!
- ⑥狭い道や塀、川へりは避ける!
- ⑦荷物は最小限に、避難は徒歩で!
- ⑧正確な情報をキャッチする!
- ⑨皆が協力し、応急救援を!

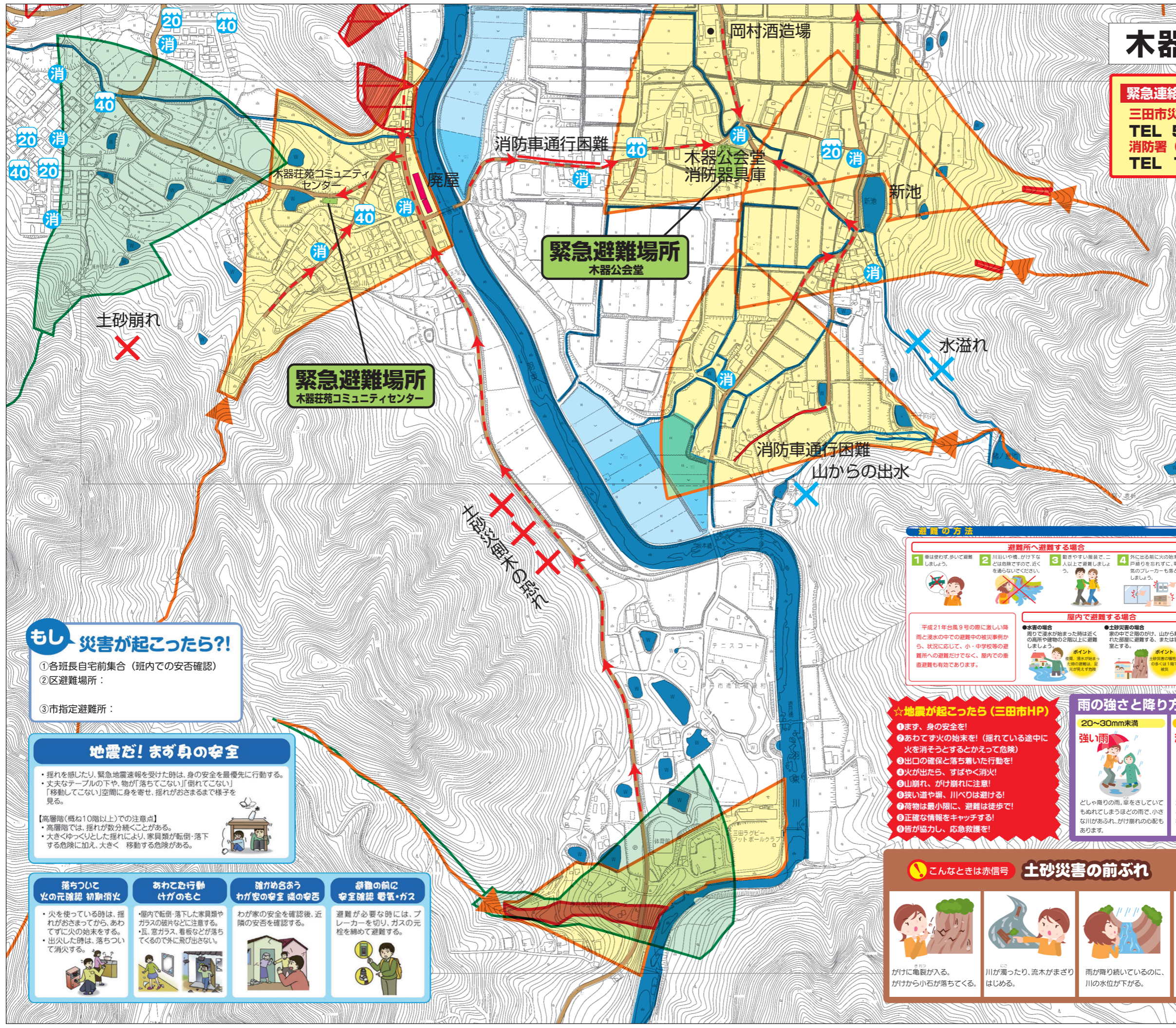
雨の強さと降り方 (1時間降雨量)

| 20~30mm未満 | 30~50mm未満 | 50~80mm未満 | 80mm以上 |
|--|---|--|--|
| 強い雨 | 激しい雨 | 非常に激しい雨 | 猛烈な雨 |
| どしゃ降りや、車を走らせていてもぬれてしまうほどの雨で、小さな川があふれ、がけ崩れの心配があります。 | 激しい雨、山崩れ、がけ崩れが起こりやすくなり、道路規制も行われます。避難の準備を。 | 雨のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなり、川の川筋は増水は激しく、水害発生危険性が高まります。 | 思わぬような圧迫感があり、恐怖を感じます。大規模な災害が発生するおそれが高く、厳重な警戒が必要です。 |

🚨 こんなときは赤信号 土砂災害の前ぶれ

大雨のときは地盤がゆるみ、土砂災害の危険性も高まります。次のような状態に気づいたら、すみやかに避難しましょう。また、市役所に通報してください。(TEL:563-1111)

- がけに亀裂が入る。がけから小石が落ちてくる。
- 川が濁ったり、流木がまわりはじめ。
- 雨が降り続けているのに、川の水位が下がる。
- 斜面から水が噴き出る。がけからでる水が濁る。
- 斜面にひび割れができる。
- 地鳴りの音が聞こえてくる。



もし 災害が起こったら?!

- ①各班長自宅前集合 (班内での安否確認)
- ②区避難場所:
- ③市指定避難所:

地震だ! まず身の安全

・揺れを感じたり、緊急地震速報を受けた時は、身の安全を最優先に行動する。
・丈夫なテーブルの下や、物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ、揺れがおさまるまで様子を見る。

【高層階(概ね10階以上)での注意点】
・高層階では、揺れが数分続くことがある。
・大きくゆっくとした揺れにより、家具類が転倒・落下する危険に加え、大きく移動する危険がある。

| 落ちついた火の元確認 初期消火 | あわてた行動 けがのもと | 確かめ合おう わが家の安全 隣の安否 | 避難の前記 安全確認 煙・ガス |
|--|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 火を使っている時は、揺れがおさまってから、あわてず火の始末をする。 出火した時は、落ちついて消火する。 | <ul style="list-style-type: none"> 屋内で転倒・落下した家具類やガラスの破片などに注意する。 瓦、窓ガラス、看板などが落ちてくるので外に飛び出さない。 | <ul style="list-style-type: none"> わが家の安全を確認後、近隣の安否を確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> 避難が必要な時には、プレーカーを切り、ガスの元栓を締めて避難する。 |